

あ、ここにも。



トップメッセージ



代表取締役社長執行役員

杉本 眞

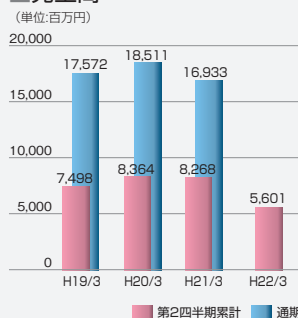
株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社の第58期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

〈当第2四半期連結累計期間の業績について〉

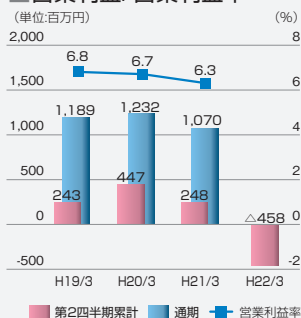
当社グループにおいては、今年度が中期経営計画「PG2009プラン（平成19～21年度）」(PGは、“Powerful Growth 力強い成長力”を意味します。)の最終年度であることを受け、重点課題の「新規基幹商品の育成」、「海外事業戦略の再構築」、「コスト競争力の強化」に、継続して取り組んでおります。

しかしながら当第2四半期連結累計期間におきましては、主力のバス用ICカードシステムが納入の端

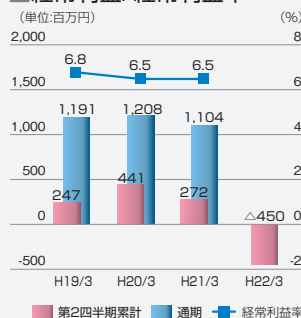
■ 売上高



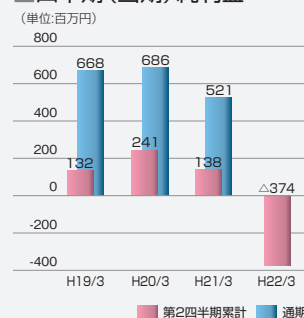
■ 営業利益/営業利益率



■ 経常利益/経常利益率



■ 四半期(当期)純利益



境期にあることや、景気後退の影響によりトラック用蛍光灯具や産業機器市場向け製品の販売が低迷し、減収となりました。

また、損益面につきましても、売上高の減少と併せて、子会社の工場閉鎖による特別損失を計上したことなどから、減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が56億1百万円（前年同期比32.3%減）、営業損失が4億58百万円（前年同期は、2億48百万円の営業利益）、経常損失が4億50百万円（前年同期は、2億72百万円の経常利益）、四半期純損失が3億74百万円（前年同期は、1億38百万円の四半期純利益）となりました。

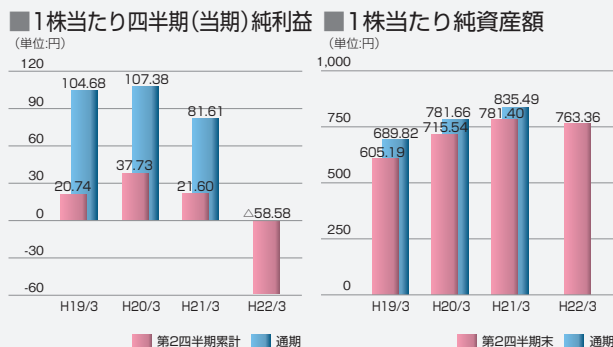
〈通期の業績予想について〉

当第2四半期連結累計期間までの業績は低調に推移したものの、輸送機器事業においてバス市場向け製品の納入が進むこと、また、S&D事業においてLED電源のさらなる拡販等を見込んでいることなどから、第3四半期連結会計期間以降でここまでの低迷をカバーする見通しです。

当社グループを取り巻く環境は、引き続き、非常に厳しい状況にあると思われませんが、この状況乗り越えるべく全社一丸となって企業価値の向上に取り組んでまいり所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも力強いご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年12月



平成19～21年度中期経営計画

Powerful Growth 力強い成長力

新規基幹商品の育成
海外事業戦略の再構築
コスト競争力の強化



公共交通機関のさらなる利便性を追求した製品の開発

長寿命のLEDを活用した、省エネ型照明・電源の拡販

路線バスやワンマン鉄道のさらなる利便性を高めるために

～運賃精算のシームレス化の次は、情報のシームレス化～

現在当社の主力製品である、交通系ICカードシステムは、普及が急速に進んでいます。路線バス・鉄道との共通利用や、電子マネーとしてのショッピングセンターでの利用など、さまざまなシーンで便利にお使いいただけるようになりました。当社のICカードシステムは、全国各地でご採用いただいています。

今後の取り組みとして、さらに公共交通機関の利便性を高めるため、乗客の皆様リアルタイムで情報を提供する製品、システムを開発し、ご提案してまいります。



バス等の車内で、ニュースや緊急情報、他の公共交通機関の遅延情報などを情報提供できる表示システム



普段、あまりバスをご利用にならない方でも、系統や発車時間、目的地への到着時間などが、すぐお分かりいただける案内表示など

LEDの関連製品を拡販

～省エネ法改正を追い風に、環境対応製品としてご提案～

LED（発光ダイオード）は、点灯寿命40,000時間と言われており、従来の蛍光灯の数倍以上の点灯時間となります。ランプ交換が不要になるほか、消費電力が少ないことから、環境対応製品として、注目されている光源です。

さらに、省エネ法※の改正により、新たに一定の要件を満たすフランチャイズチェーン等についても、事業者単位でのエネルギー管理が義務づけられたことなどから、LED看板、LED照明などの需要が高まっています。当社では、コア技術を

活かした、LED関連製品の開発を進めており、さらなる拡販を図ってまいります。

※省エネ法：エネルギー使用の合理化に関する法律



蛍光灯型LED灯具用電源

〈海外子会社の見直し〉

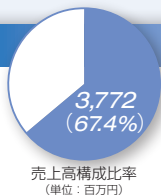
S&D（サイン&ディスプレイ）事業において、不採算が続いていた米国市場へのネオン変圧器販売の撤退を決定しました。加えて、タイ国の連結子会社 THAI LECIP CORPORATION LIMITEDにおけるネオン変圧器の生産を終了しました。

今後、米国においては、バス・鉄道市場向け製品の販売に注力してまいります。

事業別営業の概況

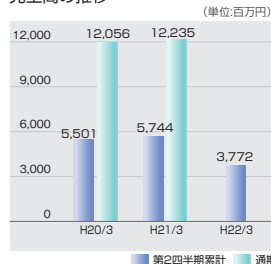
輸送機器事業

バス用ICカードシステムの大口物件が一巡し、当第2四半期累計期間が納入の端境期にあたること、また、トラック用蛍光灯の販売が落ち込んだことなどから、減収減益となりました。

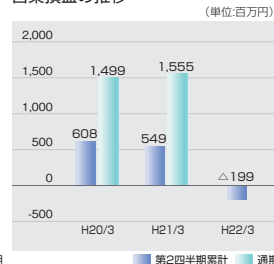


売上高 **37** 億72百万円 営業損益 △1 億99百万円
34.3% DOWN

売上高の推移



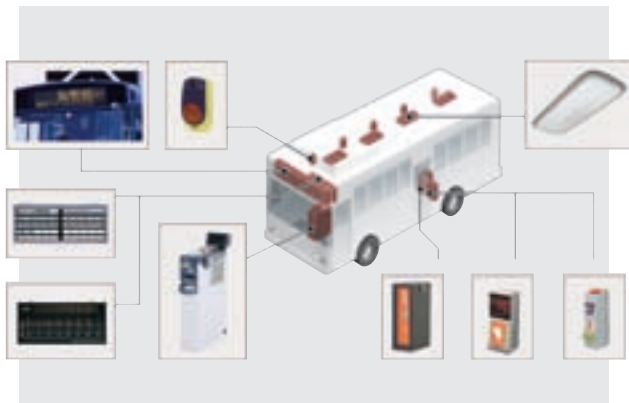
営業損益の推移



主な製品

バス・鉄道用システム機器

ICカード*システム、磁気式カードシステム、運賃箱、整理券発行器、LED式行先表示器、デジタル運賃表示器、OBC-VISION（液晶表示器）など



車載用照明機器

バス・鉄道・トラック・乗用車の室内用・荷室用照明機器



※用語解説

ICカード

非接触式ICカードにはアンテナが内蔵されており、微弱な電波を利用して端末と通信します。そのため、端末はICカードをタッチするだけでデータを読み取ることができ、その利便性から、国内路線バスのICカードシステム搭載率は約50%に至っています。(2009年3月現在。磁気式カードシステムの搭載率は約65%)

S&D事業

売上高は減少しましたが、赤字幅は改善しました。銅・鉄などの原材料価格の高騰が一服したこと、また、LED電源の売上が増大していることなどが奏功しています。



売上高 **5億11百万円** 営業損益 **△1億28百万円**

19.1% DOWN ↘

主な製品

- ・LED電源*、屋外蛍光灯看板用電子安定器、CCL
- ・ネオン変圧器(巻線式・電子式)

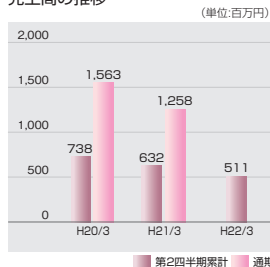


※用語解説

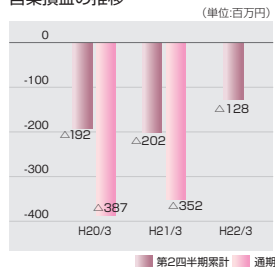
LED電源

LED電源は、商用電源(交流)を、LEDの点灯に必要な直流に変換する装置です。当社では、屋外看板や屋外照明用の電源の他、新たに、蛍光灯型LED灯具用の電源を開発しました。

売上高の推移



営業損益の推移



産業機器事業

景気後退の影響を受け、バッテリー式フォークリフト用充電器やプリント基板実装事業(子会社レシップ電子(株))などの需要が低迷し、減収減益となりました。



売上高 **13億17百万円** 営業損益 **△94百万円**

30.4% DOWN ↘

主な製品

- ・バッテリー式フォークリフト用充電器、無停電電源装置
- ・物販共用読み取り端末
- ・EMS事業(プリント基板*の実装)

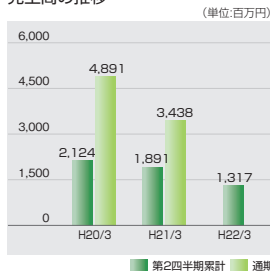


※用語解説

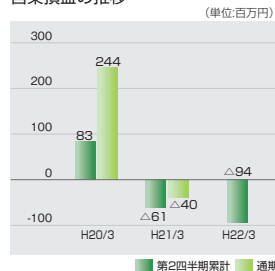
プリント基板

電子部品を固定して配線するためのもので、電気製品の主要部品のひとつです。

売上高の推移



営業損益の推移



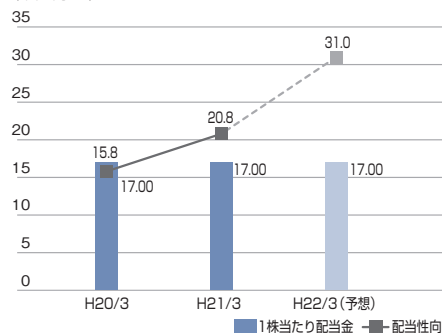
レシップは、株主の皆様に対する利益の還元を重要な課題のひとつとして位置づけており、財務体質の強化にも意を用いながら、継続的、かつ安定的な利益還元を努めることを基本方針としております。

また、取締役会決議により毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款に定めておりますが、配当の決定は通期の業績を踏まえて実施することになるため、期末における年1回の配当を基本方針としております。

なお、当期の1株当たり配当金につきましては、前期に引き続き1株17円の予定としております。

■1株当たり配当金／配当性向

(単位:円、%)



株主優待制度

ふゆうがき 富有柿

株主様からのコメント(抜粋)

最近では金券類も多くなってきた優待制度ですが、こちらの柿は本当に後に残らない甘さで、何度食べても飽きが来ず、感動しました。スーパーで買っていた柿には戻れそうに無いほどの美味しさです。次回以降もぜひ柿をお願いいたします。

- 1 対象株主** 当社株式を 100株(1 単元)以上保有されている株主様を対象といたします。(基準日: 毎年9月末日)
- 2 優待内容** 本社所在地(岐阜県本巣市)の特産品である富有柿(進物用: 1箱、2,000円相当)を贈呈いたします。
- 3 贈呈の時期** 毎年11月中・下旬より順次発送を予定しております。

※今年も11月中旬より、株主の皆様へ順次優待品を発送させていただきました。ご感想・ご意見などがございましたら、レシップ(株) 管理本部総務部までお寄せくださいますようお願い申し上げます。
(連絡先は、裏表紙をご参照ください。)

トピックス1 株主総会を初めて名古屋市内で開催しました。

2009年6月25日（木）、第57回定時株主総会を開催しました。株主の皆様にも、よりご参加いただきやすいように、今回初めて名古屋市内のホテルを総会会場としました。お陰様で例年の約2倍（72名）のご出席をいただくことができました。今後も、株主の皆様の利便性を図った開催運営を目指してまいります。



トピックス2 名証IRエキスポ2009に出展しました。



レシップの事業内容を知っていただくため、2009年7月17日（金）、18日（土）の二日間にかけて、個人投資家向けイベント「名証IRエキスポ2009」（名古屋証券取引所主催）に出展いたしました。多くの投資家の皆様にご来場いただき、当社ブースにお立ち寄りいただきました。

トピックス3 「環境活動のご紹介2009」を発行しました。

レシップの環境活動をまとめた「環境活動のご紹介」を発行いたしました。今年度はさらに、鉛フリーはんだへの切替推進や、環境に配慮した企画・設計を進めた製品の情報などを充実させました。（資料はホームページに掲載しております。（<http://www.lecip.co.jp/environment/environment01.htm>））



四半期連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度末 (平成21年9月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)
(資産の部)		
①流動資産	7,904,108	6,686,428
固定資産	2,513,702	2,471,793
有形固定資産	1,847,083	1,736,699
無形固定資産	66,683	67,085
投資その他の資産	599,935	668,008
資産合計	10,417,810	9,158,222
(負債の部)		
②流動負債	4,281,836	3,291,850
固定負債	796,853	988,172
負債合計	5,078,689	4,280,023
(純資産の部)		
③株主資本	5,395,226	4,912,208
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	719,406	719,406
利益剰余金	3,954,204	3,471,186
自己株式	△14,030	△14,030
評価・換算差額等	△56,105	△34,009
純資産合計	5,339,121	4,878,198
負債純資産合計	10,417,810	9,158,222

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

①流動資産

受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ12億17百万円減少しました。

②流動負債

支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ9億89百万円減少しました。

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	8,268,518	5,601,711
売上原価	6,466,910	4,697,621
売上総利益	1,801,607	904,089
販売費及び一般管理費	1,552,698	1,362,235
営業利益又は営業損失(△)	248,909	△458,146
営業外収益	44,278	39,813
営業外費用	20,882	31,787
経常利益又は経常損失(△)	272,305	△450,120
特別利益	22,459	4,840
④特別損失	41,373	58,056
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	253,391	△503,335
四半期純利益又は四半期純損失(△)	138,059	△374,380

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	655,338	△612,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,399	△148,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,974	344,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,612	△5,626
現金及び現金同等物の増減額	282,352	△422,420
現金及び現金同等物の期首残高	1,055,513	863,952
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,337,865	441,532

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

③株主資本

四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が4億83百万円減少しました。

④特別損失

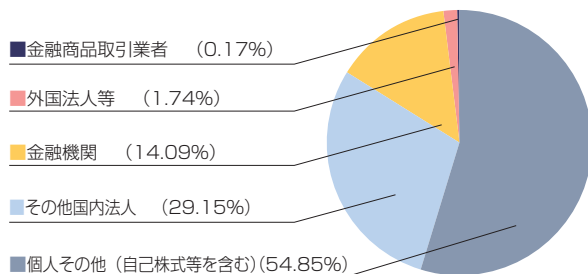
タイ子会社の工場閉鎖に係る損失として、固定資産の減損損失19百万円、現地従業員の特別退職金30百万円を計上しました。

株式の状況

発行可能株式総数	22,000,000株
発行済株式総数	6,399,100株
株主数	2,664名

株式の分布状況

●所有者別株式数分布状況



大株主 (上位10位)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
レシップ社員持株会	592,020	9.25
名古屋中小企業投資育成株式会社	468,240	7.31
重陽産業株式会社	430,690	6.73
宗教法人記念堂	422,280	6.59
株式会社十六銀行	280,000	4.37
杉本 眞	201,000	3.14
天野 賢 敬	160,020	2.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	122,500	1.91
朝日火災海上保険株式会社	120,000	1.87
瀬川 隆彦	107,960	1.68

会社概要

商 号 レシップ株式会社(英文社名:LECIP CORPORATION)

事 業 内 容 バス・鉄道・自動車用電装機器、サイン&ディスプレイ関連機器、産業用機器の製造・販売

所 在 地 〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2
TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597

設 立 昭和28年3月

資 本 金 7億3,564万円

従 業 員 連結496名 単体428名

営 業 所 札幌・仙台・東京・中部(岐阜)・金沢・大阪
広島・福岡

上 場 取 引 所 東京証券取引所市場第二部
名古屋証券取引所市場第二部

役員

代表取締役社長執行役員 杉本 眞 執行役員 野々村 良晴
取締役常務執行役員 山口 芳典 執行役員 杉戸 庸晃
取締役執行役員 長野 晴夫 執行役員 山本 直
取締役(非常勤) 河村 雅敏 執行役員 上野 一雄
執行役員 岩田 毅 常勤監査役 安田 義則
執行役員 波多野 逸寿 監査役 中川 彰
執行役員 中村 和彦 監査役 内木 一博

レシップグループ

レシップ電子株式会社
THAI LECIP CORPORATION LIMITED (タイ国)
LECIP U.S.A., INC. (米国)
レシップ上海電機有限公司 (中国)
レシップ産業株式会社

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
期末配当金
受領株主確定日 3月31日
中間配当金
受領株主確定日 9月30日
基準日 毎年3月31日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
(兼) 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂七丁目10番11号
公 告 の 方 法 当会社の公告方法は、電子公告といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
なお、電子公告は当会社のホームページに掲載
しており、そのアドレスは次のとおりです。
<http://www.lecip.co.jp>

■株式に関する手続き

1. 株式に関する各種手続き(住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取扱いしております。
詳しくは、お取引証券会社にお問い合わせください。
2. 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主様の株式につきましては、特別口座で管理されております。特別口座に関する各種手続き(証券会社の口座への振替※)、住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、従来どおり、三菱UFJ信託銀行にてお取扱いいたします。
(※)証券会社の口座への振替について
特別口座では株式の売買を行うことはできません。売買を行う場合は証券会社の口座に株式を振り替えたうえで、証券会社においてお手続きを進めることとなります。
 - ・証券会社の口座をお持ちでない株主様は、あらかじめ証券会社で口座開設のお手続きを行ってください。
 - ・単元未満株式の買増請求・買取請求につきましては、証券会社の口座に振り替えなくても特別口座において行うことができます。特別口座に関する各種手続きに必要な用紙のご請求は、下記のフリーダイヤルまたはホームページにて24時間受付しております。
 - 用紙請求専用フリーダイヤル 0120-244-479(自動音声案内)
 - ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
3. 未払配当金のお受取りにつきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にてお取扱いいたします。

LECIP

Lighting Electric power Conversion Information Processing

お問い合わせ先

レシップ株式会社
管理本部 総務部 (IR担当)
岐阜県本巣市上保1260番地の2
〒501-0401
TEL.058-324-3121
FAX.058-323-2597
URL : <http://www.lecip.co.jp>



この報告書は適切に管理された森林から生まれた「FSC認証紙」を使用し、VOC (揮発性有機化合物) の発生を抑えた「大豆油インキ」を使用しています。